

歴民だより

歴史民俗資料館

令和2年度 10月号 No.84

郷土の先人紹介

やまうち かずとよ
牧村城で才知を学んだ 山内 一豊



▲牧村城址碑（円長寺内）

時は戦国。山内一豊 15 歳の時（1560 年）、織田信長による岩倉城攻めにより、父が討死しました。その後、安八の牧村城主であった^{まきむらまさとも}牧村政倫のもとに身を寄せます。

牧村城では、政倫や西美濃の諸武将から貴重な人生を生き抜く才知を学ぶことができました。

身を寄せた牧村政倫がのちに信長の家臣となった頃、一豊も同様に信長に仕えるようになったと言われています。

一豊は、^{かねがさき あねがわ たたか}金ヶ崎、姉川の戦い（※1）において活躍します。矢が顔面を貫通するという深手を負いながらも、敵将を討ち取ったという逸話もあります。この手柄により秀吉の領地の一部を信長から与えられ、戦国武将・山内一豊としてスタートを切ったのです。

その後、秀吉、家康と仕えた一豊は、「天下分け目の戦い」となった関ヶ原合戦の功績により、土佐 24 万石（現高知県）の大大名になりました。

※1・・・戦国武将の織田信長と浅井長政が対立。金ヶ崎の戦いで九死に一生を得た信長が、姉川の戦いでリベンジする。

ハートピア安八
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取 30
お問合せ：0584-63-1515